

# 令和元年度指定管理者評価シート

## 1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市老人福祉センター仲本荘
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市浦和区東仲町28-15</p> <p>②施設の設置目的 高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。</p> <p>③施設の概要 開設年月:平成23年5月 構 造:鉄筋コンクリート造 2階建(仲本児童センター併設) 主な施設:コミュニティホール、カルチャールーム、ミーティングルーム</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成29年度 23,187千円 平成30年度 23,187千円 令和元年度 21,166千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 12,950人(前年度12,992人)</p> <p>◇業務実施状況 ・利用者相互の交流とレクリエーションの場を提供し、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう支援した。 ・健康維持・増進、介護予防の取組や、教養の向上を図るための様々な事業を実施し、事業の中に利用者の要望を取り入れるための取組も行った。 ・利用者の声を施設運営に反映するため、利用者懇談会を開催した。 ・併設の仲本児童センターや近隣の保育所とは世代間交流事業を充実させ、世代を超えた交流を図った。 ・高齢者の生活を支援するための各種相談の対応、クラブ活動の援助を図り、地域の高齢者の活動拠点として親しみのある施設づくりに努めた。さらに、高齢者が安心して暮らすことができるよう地域との連携を図るため、地域懇談会を実施し、地区社協との合同事業も開催した。</p> <p>②維持管理業務の状況 ・専門業者による消防法等の規定による建物・備品の点検のほか、職員による施設・設備の定期的な点検を行い記録に残した。なお、指摘事項については迅速な対応を図った。 ・安全確保と効率的な施設管理に努め、防災備品の在庫にも留意し、緊急時の備えを再整備した。 ・職員及び利用者への節電・節水への意識を喚起しながら、経費節減を図り効率的な施設運営に努めた。</p> <p>③その他の業務 ・シニアサポートセンターとの協働による体力測定・健康相談、生活サポート相談、理学療法士による運動機能低下予防の助言・指導等を実施した。 ・健康に関する講座、手工芸に関する講座、脳トレに関する講座、音楽に関する講座、教養に関する講座、世代間交流事業の実施のほか、中学生職場体験学習受け入れ、浦和区健康まつり、自治会行事の参加など地域とのつながりを意識した取組を積極的に行った。</p>

(6) 収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入 44千円 (前年度 23千円)</li> <li>・指定管理料 21,166千円 (前年度 23,187千円)</li> <li>・その他 3千円 (前年度 5千円)</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 13,956千円 (前年度 14,000千円)</li> <li>・事務費 481千円 (前年度 446千円)</li> <li>・施設管理費 2,198千円 (前年度 2,202千円)</li> <li>・事業費 221千円 (前年度 288千円)</li> <li>・繰入金 1,744千円 (前年度 1,744千円)</li> <li>・その他 151千円 (前年度 0円)</li> </ul>
(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等 への対応	<p>①「苦情解決体制制度」、②投書箱「みなさまの声」、③サービス向上委員会による「利用者アンケート」、④日々の窓口業務などを通じた利用者からの意見・要望の受付を継続して実施した。意見等への対応については、施設内に掲示(または閲覧)し、わかりやすく周知した。また、利用者からいただいた意見を参考にして、各事業の内容の検討を随時行った。</p>
(8) その他	

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアサポートセンター保健師・看護師による体力測定と健康相談、地域運動支援員による健康体操、埼玉県ディスコン協会との共催で行うディスコンゲーム、外部講師によるバランスボール教室とヨガ教室を開催した。また、その他健康に関する講座(「健康体操」「リズム体操」「卓球」等)の実施により、健康づくりの支援を行った。</li> <li>・職員の資質向上と講座の充実を目指し、介護予防体操や機能維持のための講座への参加も積極的にすすめた。</li> <li>・それぞれの事業、講座では、参加者の状態、体調の変化を考慮し、楽しみながら無理なく継続的に参加でき、健康の維持・増進に役立てられるよう支援を行った。事業の実施にあたっては、「健康寿命」の延伸につなげることを目指した。</li> <li>・各専門機関と連携を図り、地域の催し「浦和区健康まつり」に参加した。</li> </ul>
生きがいづくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が充実した生活を送ることができるよう、歌やおりがみ、工作、卓球等の趣味的活動の支援、映写会等の知識・教養の向上、季節行事やゲーム大会等のレクリエーション活動の支援を行った。</li> <li>・平成28年度に「仲本サポーターズクラブ」を立ち上げ、仲本荘でのおりがみ講座や手づくり講座で使用する材料の準備を活動として取り組んでいた。利用するだけの施設に留まらず、活動自体をサポートすることで利用者のやりがいづくりにつながっている。平成29年度から「仲本プレゼントプロジェクト」事業を継続実施し、手づくり作品を制作することで新たなやりがいを生み出している。</li> <li>・老人クラブや各団体への支援として活動場所や情報を提供し、身近な地域の活動拠点となるよう努めた。高齢者同士の交流だけでなく、併設の児童センターや近隣の保育園、地域子ども達と一緒に行事を行い、積極的に実習や見学を受け入れ、共に行事を楽しみながら世代間交流を図った。</li> </ul>
支え合う活力あるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練等の安全に対する啓発事業や交通安全アドバイス、防犯教室等の活動・講座を実施し、暮らしの中で起こりうる危機・リスクの回避とその対処を理解していただくよう努めた。</li> <li>・シニアサポートセンターと協働した健康相談や、理学療法士による指導及び健康以外の生活サポート相談も行い、利用者一人ひとり気にかかることの相談に応じた。シニアサポートセンターをはじめ、自治会や関係機関等と地域支援会議や地域懇談会等を通して関係強化を図り、地域の中で利用者が安心して生活できるよう支援に努めた。</li> </ul>
サービス向上計画の実施	<p>【利用者の意見を反映する仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者懇談会を開催し、利用者からの意見・要望を直接伺うことができる機会を設けた。</li> <li>・実習生の受入れやボランティアの活用により、より良い施設づくりとサービス向上に努めた。</li> <li>・地域懇談会の開催や地域支援会議などに参加し、情報交換と情報共有を図り直接施設に届きにくい利用者ニーズを把握しサービス向上に努めた。</li> <li>・利用者アンケートや「みなさまの声」を活用し利用者ニーズを汲み取り、より利用しやすい施設づくりに努めた。また、苦情解決体制により、利用者からの苦情・意見・要望を把握し、迅速・適切な対応に努めた。</li> </ul> <p>【専門性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座や応急手当講習などの関係団体研修へ参加するとともに、老人福祉センター職員を対象にした研修を開催した。</li> <li>・職員が受講した外部研修等の内容について、伝達講習を中心とした職場内研修を実施した。</li> <li>・法人が運営する児童センターとの合同研修として、老人福祉センターの職員が講師となる「認知症サポーター養成講座」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</li> </ul>

### 3. 評価

#### (1) 指定管理者による評価

・地域との連携をより深めることを重視し、近隣自治会等の協力を得て周知に努めた。高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らせることができるよう、地域との連携を図るため「利用者懇談会」を開催した。地区社協と結びつきを強化し、次年度に向けて連携体制の構築を図った。

・各事業に参加定員を設けているが、定員を超えた場合でも来館された方には極力事業に参加していただきながら、安全に配慮し、事業内容やサービスの質に低下が生じないように取り組んだ。

・浦和区健康まつりへの参加やゴミ0運動などの自治会活動、地域支援会議への出席等、施設として地域と関わる機会を多く得られている。浦和区高齢介護課を通じて地域運動支援員との共催事業や、シニアサポートセンターや近隣公民館との共催事業等、関係機関との連携も大切にし、情報交換や支援の向上に努めた。

・世代間交流事業としては併設の仲木児童センターとの合同事業のほか、保育所との合同事業も交流先を増やし実施するなど充実したものとなっている。

・法人内の老人福祉センター間で連携して毎月実務担当者会議を開催し、情報交換及び効果的かつ効率的な事業の実施を図った。職員の専門性の向上のため、職員を対象とした「老人福祉センターレベルアップ研修」を行うとともに職場内研修、伝達研修を実施し、研修内容のフィードバックに努めた。

・施設の目標として掲げた、「効率よく仕事をしよう」を職員全員が意識・実践し、サービスの質の向上を図るよう努めた。

・令和2年3月2日からは、新型コロナウイルス拡大防止のため休館となった。

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

##### 総合評価 (B) ※A~D

##### 【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組】

利用者懇談会やアンケート、実習生の受け入れ等を行い、サービス向上に努めた点を評価した。

##### 【経費の削減に関する取組】

予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

##### 【適正な管理運営の確保に対する取組】

自治会活動、地域支援会議への出席、浦和区高齢介護課を通じて地域運動支援員、シニアサポートセンター、近隣公民館との共催事業を行う等、地域との連携を重視した点を評価した。

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、適切な管理運営に努めてください。